

# スピリチュアル物語

## 28話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

### 魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリオート内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「ふあ〜」ウイザットの大きなあくび。窓からは月明かりにぼんやりと浮かび上がる木々が、小夜風(さよかぜ)に葉を揺らし、木魂(こだま)達(だ)の眠りを誘っているのが見える。「そろそろ寝るとするかふあふあふあ〜」ウイザットから移ったあくび混じりの声で、マグワートがそう言う。「あ、うう…私達はどうすれば?」とつぶりと暮れた窓外の景色に不安顔で訊ねるマジョリアル。「心配せんでも、ここに泊まって構わんよ。うちには部屋が沢山あるから」マグワートはそう言う。「あ、ありがとうございます。ありがとうございます。」「そうじゃ。風呂にも入りたいじゃろ。」「ん、風呂は面倒

臭いからいいよ」ウイザットが言う。「何?風呂が面倒じゃと?風呂は浄化になるので、寝る前には入ったほうがいいんじゃない?」マジョリアルが叱り口調で言う。「浄化ですか?」マジョリアルが問い掛ける。「ああ。風呂というものは、その日一日の疲れを癒し、心身共に浄化してくれるものじゃ。風呂の後に眠りの世界、つまり潜在世界を訪れるという意味では、スピリチュアル的にも必要な儀式と言えるな」スピリチュアル的儀式?「そうじゃ。存分な水を使うことが出来ない地方では、煙を浴びてそれを風呂の代わりとしている文化もあるんじゃないよ」

「煙で浄化するということですね?」マジョリアルが優等生的顔付きで応える。「じゃあ僕は煙だけでいいよ。風呂は面倒だ」飽く迄も風呂嫌いのウイザット。そんな彼をなだめる様に「もしかしたら風呂に入れば、元の世界にワープして戻れるかも知れないぞ。何だかそんな映画を観たことがあるんじゃない?」マジョリアルはそう言う。「あ、茶目つきたっぷりにウイソクをして見せた。



★これまでのお話(1~27話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

[www.majotomoe.com](http://www.majotomoe.com) お話の続きは2月24日号をお楽しみに!

魔女ともえが宇宙より降るすメッセージ2017は、ラベストさん2月号をご覧ください!